

一般質問



大橋 議員

○がん患者及びがん経験者に対する
アピアランスケア助成について

質 近隣市町で対応されているアピアランスケア助成について松浦市においても事業を制度化していただきたいと考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 近隣市町で既に実施されており、本市としてもアピアランスケア助成事業の実施に向け、財源確保に努めたいと考えています。

※アピアランスケアとは、がんやがんの治療により外見が変わっても、安心して自分らしく社会生活を送られるように支援する事です。

○松浦高校のまつナビ中高一貫教育と部活動支援による高校の魅力化について

質 松浦高校で野球をやりたい子どもたちがいて、その保護者もやらせたいと思っていられしやるのに、現在、松浦高校の野球部は残念ながら休部中です。大崎高校野球部のように外部監督を松浦高校に招聘し、市役所で職員として働きながら子どもたちの指導に当たっていただくことはできないか。3年後、松浦市が甲

子園に沸く夢をみんなで追いかけていと考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 「まつナビ」の中で、松浦高校の部活動支援も行っていますので、支援は可能かとは思いますが、スポーツ支援員を市の職員として採用し、支援を行うことは現時点では考えていません。

質 この支援をすることにより、松浦高校の野球部の子だけではなく、相乗効果で周りのクラブの子たちも元気がよくなります。松浦市全体の浮揚のために、今の高校生たちに投資をするということが、5年後、10年後の松浦を作ると私は思っています。

野球部への支援をすることにより、この松浦市で仕事をしていくという子が育つのではないかと考えています。市長の考えをもう一度お聞かせください。

市長 行政が高校野球部の支援として、コーチを雇い、強化を図っていく自治体は県内にありますが、それ以外の生徒にとって、それが最適なのかということです。松浦高校の支援は、全ての生徒たちを支援対象にしており、松浦の子どもたちが、松浦唯一の高校、松浦高校に進み、松浦を愛し、将来、松浦に帰ってきてくれることを高校と一緒に取組みたいと考えています。

一般質問



徳田 議員

○県道喜内瀬鍋串辻線改良整備について

質 県道改良工事里工区は一部狭いままですが、これで完了なのか。今後の計画・用地交渉について伺います。

建設課長 用地取得が困難な土地があり、取得した用地の範囲内で長崎県の改良工事が行われています。

今後、用地の取得が可能となるなど、状況の変化があれば改めて改良工事を行ってほしいと、地区役員の皆さまから要望を受けています。

質 合併前の要望時、里工区の完了後、初ノ浦地区を着手すると記憶しています。里工区が一旦終了するのであれば、初ノ浦地区から喜内瀬地区までの改良整備ができないか伺います。

建設課長 初ノ浦工区は、改良の必要性はあるが、福島地域の他の要望区間もあり、長崎県に対し引き続き道路改良を要望して参ります。

質 喜内瀬地区から伊万里釜釜地区は大型車が通るには狭く、急カーブも多い。改良整備ができないか伺います。

建設課長 線形不良により視距が確保されていない箇所があるなど危険

な状況であり、本市の意見を聞きながら事業化に向けた検討を進めるとの長崎県の見解が示されています。

○喜内瀬園地の元寇供養塔移設について

質 供養塔について、国定公園内の喜内瀬園地から、初崎地区への移設は困難と考えているのか伺います。

文化観光課長 一定の基準を満たせば移設は可能であると、長崎県に確認できましたので、当該地区への移設は検討の余地があります。

質 供養塔は民間企業が建立されたもので、当時の背景、町民の気持ちをどう捉えたのか、伺います。

文化観光課長 現在の場所に建立するに至った背景に、企業の代表者の思いのみならず、それに関わった皆さまもおられたものと推察しました。

質 市の所有・管理であり、元軍が眠る海が見える初崎海岸に移設できないか伺います。

文化観光課長 市が主体的な目的を持って移設することは難しく、どのようにしたら供養塔の移設ができるかを、引き続き歴史観光推進協議会と協議していきたいと考えています。

質 元寇750年記念事業として移設できないか伺います。

文化観光課長 移設の目的自体も整理し、手段について、引き続き検討したいと思っています。